



会員近況

中電機産業 村沢 与四郎

昭和37年の創業以来、あいかわらず小規模企業の経営に参画しておりますが、ここ大磯町は首都圏とはいえ、片田舎の域を脱しきれず刺激の少ないのんびりムードの経営環境にあります。加えて私自身、技術畑の出身で、経営とか財務とか、まったくの無知からの出発であったから、勉学のため日本帳票管理協会に入会、そこで岡田先生と出会い、同氏の勧めでOR学会の経営コンサルタント研究部会の仲間にしていただいた。この部会は上田亀之助先生を主宰として、工学、薬学、東電、歯学、技術士、電々、防衛庁、企業経営者、コンサルタント等あらゆる分野の人々の集まりであり、月1回の研修会は誠に有意義で、ことに上田先生の「テトラ・オートマトン」

思考はまったく斬新な分野であり、非常にわかりやすく応用のきく学説として利用させていただいております。最近かつて乱読した書を読み返している中で、松野茂雄氏（元立石電機取締役 昭和45年(社)日本能率協会発行)の「S・E・L・B・A」プランの魅力につかれ再び熟読し始めました。P/Lを比率P/Lとして過去の実績から改善目標設定に活用し得るよう数式化したもので、この数式の展開により経営のあらゆる分野へ応用可能であり、その過程でOR的思考の入り込む余地が多々あることに興味をもった次第です。経営活動が人、物、金、情報の創造的運用であると仮定するならば、正にこの書は一読に値するものと存じます。

会合記録

会合名称	()内は出席者人数
モニター委員会	10月4日(月)(2)
編集委員会 (OR誌)	10月6日(水)(13)
IAOR委員会	10月12日(火)(2)
会計幹事会	10月26日(火)(4)
研究普及委員会	10月29日(金)(9)
表彰委員会	10月29日(金)(5)

編集後記▶今年も押し詰まり、12月、最終号となりました。年の暮の総決算で1年間をふりかえり反省する時期ですが、昨今は大晦日も意味も変わり、年の変わり目という感覚が薄くなったようで、むしろスキー、海外旅行と正月休みの計画に忙しいようです。▶OR誌も年の暮れといっても総目次が加わるのみで大きな変化は見られませんが、総目次を眺めているとその時の思い出が生々しく浮かんできます。締切に追われ間に合わせ的な企画が好評な一方、練りに練った企画が悪評だったこと、予定の執筆者に次々に断られ、毎日原稿依頼の電話に忙殺されたことなど今年もいろいろありました。▶悩みの中心はやはり特集の企画です。多少余裕ができて、少し気を許すと直ぐ追われる状況に落ち込みます。現在の特

集の予定は、ORのはじまり(1月号)、鉄鋼のOR(2月号)、スーパー・コンピュータ(3月号)、行政改革(4月号)、建設のOR(5月号)、知識工学(6月号)、経営計画(7月号)、需要予測(8月号)です。会員からの要望として、企業戦略、マーケティング、人事・組織、リスク・マネジメント、シナリオ・ライティング等のテーマがありますが、コーディネーター、執筆者が決まらず苦勞しています。自薦、他薦を問わず適任の方をご紹介します。▶連載講座「APLとOR」が3月号で終了します。現在編集委員会が次期企画を検討中です。ご要望、ご意見がございましたら、編集委員会までお知らせください。▶本年もご指導、ご協力有難うございました。皆様よいお年を。(M)

オペレーションズ・リサーチ

昭和57年12月号 第27巻 (新シリーズ第7巻) 12号 通巻264号
 代表者 横山勝義
 発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 (電話 03-815-3351~2) 〒113
 編集人 小林竜一
 発売所 株式会社 日科技連出版社
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (563-2241) へ